

自然災害への備え

「東日本大震災から私たちが学ぶこと」

3月11日午後2時46分ごろ、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生しました。この地震とその後の大津波で多くの方が犠牲となり、また、行方不明の方も多数出ています。あらためて、自然の猛威を見せつけられました。広報誌「ゆとりすと」では、自然災害への備えとして、南海地震や集中豪雨などの大規模災害への心構えや対処などを随時掲載していきます。



■南海地震はいし起るのか

10年以内の発生確率	10〜20%
30年以内の発生確率	60%程度
50年以内の発生確率	80〜90%

※政府地震調査委員会発表
と言われています。

30年以内の発生確率60%と聞いて高いと感じますか？ まだまだ先のことだと感じるでしょうか？
例えば、今後30年以内に交通事故で死亡する確率は0.2%、けがをする確率は24%です。がんで死亡する確率は6.8%、空き巣に遭う確率は3.4%です。このように考えると、この確率は非常に高いと言えるのではないのでしょうか。



■南海地震とは

それでは南海地震とはどのような地震でしょうか？和歌山県沖から高知県沖を震源とする周期的な巨大地震。100年周期で過去幾度となく起こり、大津波を伴い多数の犠牲者を出しています。

また、過去に起きた8回の東南海地震のうち7回までもが、その直後から数か月以内に南海地震が起きています。
このことから東海・東南海・南海の地震が同時に発生することも想定され、その場合の被害は今回の東日本大震災をはるかに上回ると考えられています。
発生時刻などで被害状況は変わりますが、最悪の場合には死者2万4千加人、10m超の大津波で96万棟の住宅が全壊、経済被害は81兆円と試算されています。
(政府中央防災会議)



日ごろから災害への備えを万全にし、いざというとき慌てず、冷静に行動できるようにしておきましょう

生産能力5倍アップ！ 新柚子加工施設落成式

4月5日、JA土佐れいほく柚子加工施設の落成式が行われました。この施設は、床面積約1500平方メートルで、旧大豊中学校跡地に建設したものです。搾汁機械を倍増し、搾汁能力を引き上げること、従来の5倍のユズジュースの生産が可能になるそうです。

当日は、多くの関係者や地元の方、近所の小中学生が集まり、式典やもちまきなどで、新施設の完成を祝いました。



絵画と花を観賞 むらざと ギャラリー「夢来里」オープン

4月17日、太平地区でギャラリー「夢来里」のオープニングイベントが開催され、多くの人が駆け付けました。

このギャラリーは、大平の都築将子さんが描きためた絵画を展示しているもので、建物はご主人が改装し、落ち着いた雰囲気ギャラリーの中に都築さんの作品がマッチしていました。

ギャラリーのまわりにはたくさんのお花が咲きほころび、また、大阪のア・カペラグループ、シャンテの皆さんの歌でイベントを盛り上げていました。

皆さんもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょう。



連絡先： ☎074-0378 都築さん

新規採用職員紹介

～よろしくお願ひします～



やまなか げんた
山中 元太
(高須・住民課健康づくり班)

まだまだ勉強することはたくさんありますが、親しまれる職員を目指して頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。



かわさき まこと
川崎 誠
(怒田・産業建設課地籍調査班)

これから大豊町をより良くするために、微力ではありますが精いっぱい働きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします！



あきづき りえ
秋月 梨江
(川口南・大杉保育所)

子どもたちと笑い、泣き、遊び、共に成長できるのが楽しみです。よろしくお願ひします。



おおさき ゆうた
大崎 裕太
(東土居・総務課企画財政班)

大豊町に育ててもらったので、これから大豊町を良くするためにがんばっていきたく思いますので、よろしくお願ひします。

火の取り扱いには十分注意しましょう 前年に比べて火災件数が大幅に増加しています